

放課後等デイサービス オレンジスクール 支援プログラム

公表日 2025年3月31日

オレンジスクール 東戸塚教室（単位2）

法人（事業所）理念		将来の「自立」を見据えた支援			
支援方針		・見通しを持って、時間を意識した行動ができるようにする。			
		・生活の中で必要な知識や技術を身に付ける。			
		・他者との会話や活動を通してコミュニケーション能力を育てる。			
事業所で実施している支援例					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や睡眠時間に関する聞き取り、体温確認を行い、自身での健康状態の把握を促す。 ・うがい用の紙コップを机に用意しておき、入退室時の手洗いうがいを習慣づける。また、トイレ利用後の手洗い等、衛生面に意識を向ける声かけを行う。 ・スケジュールの確認を行い、先の行動へと見通しを持てるようにする。 ・座席配置や掲示物の位置を配慮し、視覚情報の制限を行う。パーテーションや傾斜台、クッションを用意することで、それぞれの活動に合わせた環境を整える。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動を通して、道具の使い方を学ぶと共に手先を使った細かな作業の経験を積む。 ・座り方が乱れている際には声をかけ、姿勢保持の意識へと繋げる。リラックスするタイミングではクッションを活用する。 ・ビジョントレーニングの課題やハンドグリップの使用を通して、感覚への刺激を与える。 ・集団活動のプログラムに、ラジオ体操やいろはにこんぺいとう等の活動を取り入れ、身体を動かす機会を作る。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で模型や実物等の具体物を用いることで生活の中で活用される算数への意識を高め、生活算数力を養う。 ・活動前のスケジュール設定、事前／最中の時計の確認等を行い、自己管理能力の向上を図る。 ・視覚的、聴覚的な判断力を養うため、カルタや聞き取りゲーム、指示に沿って行動するゲームを取り入れる。 ・特有のこだわり行動に適した声掛け支援や環境整備を行う。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や文の音読を取り入れ、音と文字の一致や言葉のまとまりの理解を促す。 ・読解や会話のトレーニングを通し、相手や物事の意図を読み取る力を養う。 ・来室時の挨拶、場や状況に応じて求められるやり取りの習慣化を図る。 ・文字や絵カードを用いた活動を確認することで、適切な適切な行動選択、意思決定ができるよう促す。 			
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の色々な見方を知るため、プリントや実践を用いたSSTに取り組み、主観性・客観性をはぐくむ。 ・気持ちや考えをより良くアウトプットできるよう適切な表現の紹介をし実践を促す。 ・ルール理解や勝敗の経験を積み、受け入れがたい物事への受容の仕方を学べるように、小集団での遊びの機会を伝えていく。 ・地域活動のお買物やゴミ拾いを通して、交通ルールや社会奉仕活動の意義を考える。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録を通して、教室での活動内容や支援方法の共有を行う。 ・面談の他、来室時や電話等を用いて、こまり感等の相談の場を設ける。 			
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて本人の日常の様子や発達の段階について確認し、支援の方向性の共有を図る。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動（お買い物体験、ゴミ拾い）を通して、地域への関心や理解を深める。 ・避難訓練を行い、施設における災害発生時の対応や避難ルートを確認する。 			
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な社内研修の実施（虐待防止・身体拘束適正化研修、災害対策・業務継続計画研修、BCP（感染症）研修、意思決定支援・人権擁護研修、ハラスメント防止研修、個人情報保護研修、BCP（災害）研修、障害児理解研修、交換研修等） ・社外研修への参加 			
主な行事等		創作活動（毎月1回実施）、地域活動（毎年2回実施）			
営業時間		平日	14時30分～18時30分	学校休業日	9時30分～15時30分
送迎		なし			

☆上記内容以外にも、お子さまの状況に合わせた支援プログラムを随時検討・実施しております